

## 2月のさろんテーマ

# 映画会『物置のピアノ』

2月の「さんか・さろん」は映画『物置のピアノ』の鑑賞会でした。昨年福島で先行上映の後、秋には東京で、そしていま、各地で自主上映会が開かれています。「3・11」からもうすぐ4年。いままた福島に、そこに生きる人々に、目を向けたいということでの映画会となりました。当日は会場がわかりにくいところであったにもかかわらず、「ホームページで見た」とスローライフの会員以外の人も参加され、大変熱気のある映画会でした。

\*\*\*映画を指導した武重邦夫氏あいさつ\*\*\*

〔映画監督。日本映画学校の設立に参加、学生の指導に。日本映画大学相談役。スローライフ学会会員〕



雨の中足を運んでくださってありがとうございました。私は、1975年から34年間、日本映画学校で映画を教えていた。7年前に辞めた最後のクラスに、福島県桑折町出身で故郷を舞台にした「物置のピアノ」というシナリオを描いた女性が

いた。なぜかそのシナリオが気になっていた。映画学校をやめた後も学生たちと一緒にいくつか映画をつくってきたが、2010年、この「物置のピアノ」を映画化することになった。学生たちと準備を進めているところに3.11が起きた。もう映画どころではないと考えたが、学生たちは違った。桑折町は桃の産地で放射能の風評被害を受け、町が寂しい感じがするから、どうしてもこの映画を作りたいといってきた。



劇映画だから予想以上にお金がかかったが、みんなに助けられて、完成することができた。



クールジャパンでなく、ラブリージャパンの映画。地域のやさしさがあられている。全然グレードは違うのだが、小津監督の「東京物語」みたいでわざとらしいところがない。

一番うれしいのは、桑折町の人がとても喜んでくれたことだ。この映画は3月からロンドン、スコットランド、オランダなど世界で上映することになっている。キャセイ航空の飛行機の中でも上映している。2~3年かけて亀のスローな歩みで、世界中で上映しようと考えている。応援してください。

\*\*\*\*\*

### 【あらすじ】

震災から1年後の夏。福島県中通り桑折町に住む高校三年の宮本春香(17)の元に、東京の大学に行っていた姉・秋葉(20)が、突然帰ってくる。優秀でなんでもこなす人気者の秋葉に比べ、不器用で臆病な春香。震災以来物置にしまわれていたピアノを弾くことが、春香にとって唯一の心安らぐ時間あり、幼いときに亡くした弟への鎮魂でもあった。そんな中、いつも春香に優しい祖父が、桃の風評被害に苦しむ姿を見て、春香はある決断をする――。

浪江町から避難・転校してきたトランペットを吹く同窓生とのふれあい。帰ってきた姉との衝突、福島の桃農家の現状……春香の中で何かが変わろうとしていた。

### 【キャスト】

芳根京子、小篠恵奈、渡辺貴裕、平田満、佐野史郎、長谷川初範、織本順吉、赤間麻里子 他 500人を超える桑折町民など。